

環境経営レポート



刈鋌工業 株式会社

実施期間 2021年1月～2021年12月

作成日 2022年2月24日

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1 組織の概要	1 ページ
2 対象範囲	2 ページ
3 環境経営方針	3 ページ
4 環境経営目標(次年度以降の短・中期目標を含む)	4-5 ページ
5 環境経営計画 (2021年の計画と環境教育計画書、実施体制を含む)	6-9 ページ
6 環境経営目標に対する実績値と評価	10 ページ
7 環境経営目標と計画の結果と評価 並びに次年度の目標・計画	11 ページ
8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	12 ページ
9 代表者による全体の評価と見直し・指示	13 ページ

1 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 圭亮
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数(2021年12月現在)	役員 3人 社員 128人(契約社員含む) 派遣社員 22人
・売上高	2021年3月 42億5000万円 2020年3月 44億2000万円 2019年3月 46億3000万円
・環境管理責任者	代表取締役 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 和田 靖弘(0565-52-3824)

2. 事業・内容活動

- ・自動車部品製造(車体系機能部品)
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

2 対象範囲

認証登録範囲	全組織・全活動
対象期間	2021年1月～2021年12月
レポート発行日	2022年2月24日

環境方針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ① 省エネルギー活動を推進し、CO₂排出量を削減する。
 - ② 産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③ グリーン購入の推進。
 - ④ 化学物質使用量の削減。
 - ⑤ 不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥ 環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にする企業を目指す。
 - ⑦ 地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鉾工業株式会社
環境委員長
代表取締役



4. 1環境経営目標(2021年度)

20年度実績(基準)	目標('21年)
<p>エネルギー使用量の削減</p> <p>CO₂の削減 二酸化炭素排出 476,541kg-CO₂ 原単位 47.654kg-CO₂/1万個</p>	<p>-1%削減 年 471,775kg-CO₂ 47.177kg-CO₂/1万個</p>
<p>購入電力の削減[※] 1,118,640kWh 最大電力 393kW 化石燃料使用量の削減 7,134L</p>	<p>年 1,107,453kWh 最大電力 389kW 年 7,062L</p>
<p>排出物の低減</p> <p>一般廃棄物 燃やすごみ 13,318kg 再資源化物 564kg</p> <p>産業廃棄物 再資源化物 7,060kg 再資源化以外 2,555kg</p> <p>鉄スクラップの低減 4,551,407kg/年</p> <p>品質不良の低減 クレーム件数 151件</p>	<p>-1%削減 燃やすごみ 13,184kg 再資源化物 558kg</p> <p>-1%削減 再資源化物 6,989kg 再資源化以外 2,529kg</p> <p>4,505,892kg/年</p> <p>クレーム件数 149件</p>
<p>水使用量の削減 4,745m³</p> <p>化学物質使用量の削減 PRTR対象物質 116.1kg 総化学物質 21,241 L</p> <p>購入資材の適正化 鋼材使用量の削減 9,437t 部品使用量の削減 1,171百万円 紙使用量の削減 208,250枚</p>	<p>-1%削減 年 4,697m³</p> <p>-1%削減 年 114.9kg 年 21,028 L</p> <p>年 9,342t 年 1,159百万円 年 206,167枚</p>
<p>グリーン購入の推進(事務用品) グリーン購入費67.61%</p>	<p>グリーン購入 60%以上</p>

※ 電力のCO₂排出係数 0.426kg/CO₂(中部電力2019年)

4.2環境経営目標(次年度以降の短・中期目標)

作成日:2021年2月26日

環境管理事務局

	単位	基準値	2021年度目標	中期目標
		直近3年間の実績値の平均*	2021年1月～12月	2022年～2025年
二酸化炭素の削減			基準値比 -1%削減	2025年までに 基準値比 -5%削減
総排出量	kg-CO2	578,060		
原単位	kg-CO2/1万個	44.35		
購入電力	kWh	1,175,543		
ガソリン使用量	ℓ	5,684		
軽油使用量	ℓ	559		
灯油使用量	ℓ	2,493		
排出物の削減			基準値比 -1%削減	2025年までに 基準値比 -5%削減
一般廃棄物	kg	14,053		
産業廃棄物	kg	11,693		
鉄スクラップ	kg	4,955,015		
品質不良の低減				
クレーム件数	件	188	-1%削減	-5%削減
水使用量の削減	m3	6488	-1%削減	-5%削減
化学物質使用量の削減				
総使用量	ℓ	21648	実績の把握と 適正な管理を行う	
PRTR対象物質	kg	128		
購入資材の適正化				
紙使用量削減	枚	247818	-1%削減	-5%削減
グリーン購入の推進(事務用品)				
グリーン購入費	%	67%	購入率60%以上	

* 2018年、2019年、2020年の実績値

5. 1環境経営計画とその評価及び次年度の取組み

全社にて取り組む計画と各グループ・チームにおいて目標を立て実施する計画を立て活動

取組み項目	取組み内容	実績・評価
エネルギー使用量の削減 空調の温度設定管理 休憩時間の消灯管理 工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 個別活動計画表にて管理	○
排出物の低減について 一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入	○
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進	○
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減	○
品質不良の低減について	朝ミーティング活動 週一会議の実施	○
水使用量の削減について	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握	○
化学物質の使用量の削減	使用量の把握 適正使用量の管理	○
購入電力の削減 省エネタイプ設備への移行 デマンド装置の設置	設備導入時 時間ごとの電気使用量の把握	○
化石燃料の削減について ガソリン、軽油使用量の管理	アイドリングストップの周知 エコドライブの推進	○
灯油使用量の管理	ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入	○
購入資材の削減について 鋼材使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
紙資源の再利用の促進について コピー紙使用量の削減 帳票紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進 裏紙使用の周知 使用量の把握	○
グリーン調達の推進について	新規購入品の確認 一覧表にて確認	○

●次年度も上記取組みを各グループ・チーム単位で個別に計画を立て、継続実施する。

5.3 環境教育計画書

刈鉾工業株式会社
作成: '21年 4月23日

承認	確認	作成
		

適応範囲

環境教育は、全員を対象とする一般教育、管理職教育と環境に著しい影響を与える可能性のある業務に従事する者等を対象とする専門教育に区分

実施内容

一般教育は、下記の事項についての理解を促す内容とする。

- (1) 環境問題の現状や、エコアクション21における環境への取組の意義、重要性等
- (2) 組織共通の環境目標及び環境活動計画の内容、手順
- (3) 担当する業務に関連した環境目標及び環境活動計画の内容、手順
- (4) 自らの役割及び責任

管理者教育は、下記の事項についての理解を促す内容とする。

- (1) 環境への取組の意義、重要性
- (2) エコアクション21の基本的な仕組み
- (3) 部門の環境目標及び環境活動計画の詳細
- (4) 部門の責任者としての役割、責任及び権限

専門教育は、下記の事項についての理解を促す内容とする。

- (1) 法規制の詳細、遵守手順
- (2) 必要な資格能力等
- (3) 作業ごとの環境影響の理解
- (4) 緊急事態への対応

教育・訓練計画

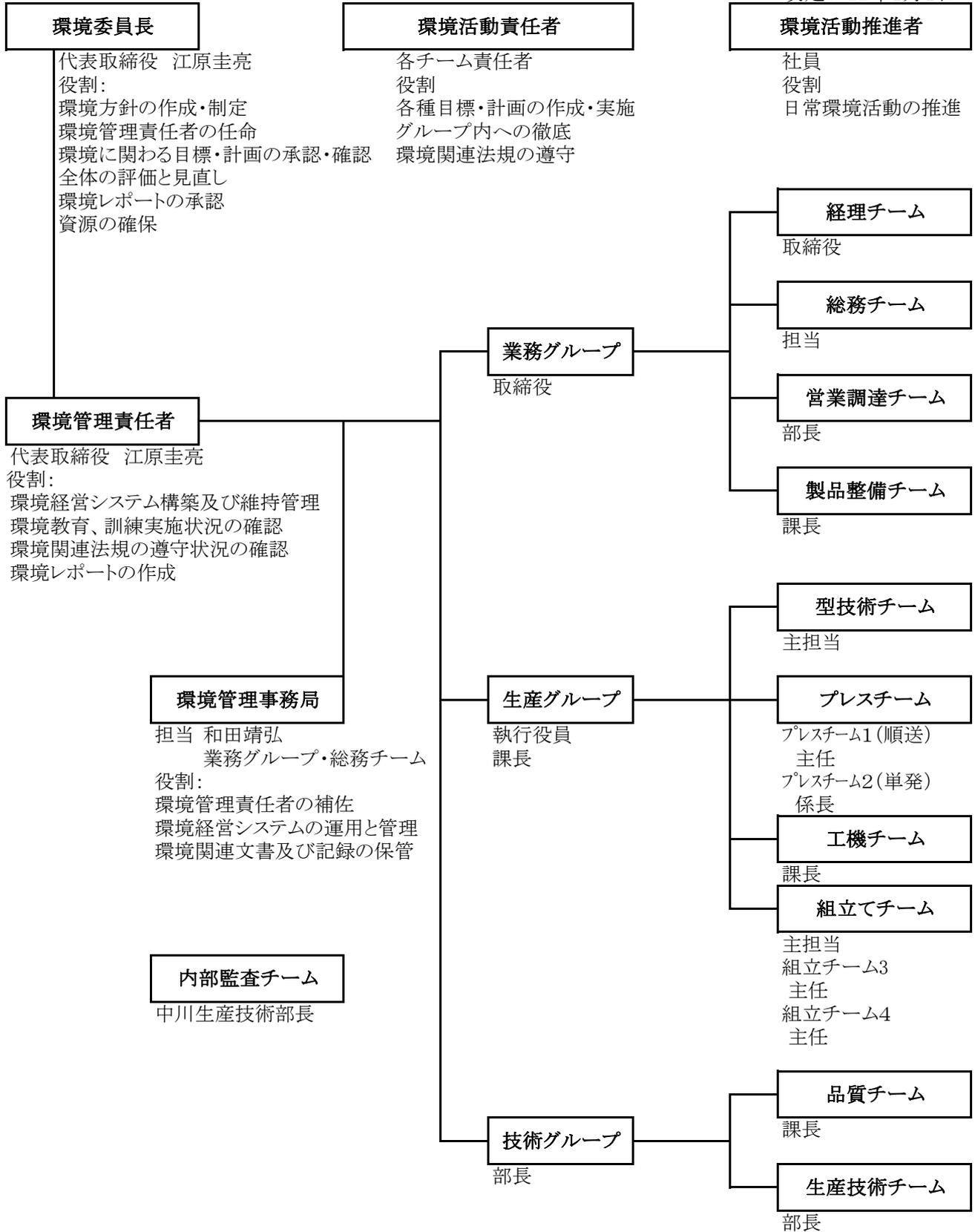
一般環境教育	随時	環境活動推進者
実施者	環境活動責任者	朝礼時や掲示板等を使用し行なう
管理者教育	年2回以上	環境活動責任者
実施者	環境管理責任者 事務局	月一回の会議の時間にて行なう
専門教育	随時	特定業務者
実施者	環境活動責任者 事務局	新たに作業に従事する前や作業内容の変更があったときや法規制等の変更時に行う
防災訓練	年1回	12月実施予定
実施者	事務局	
異常時訓練	年1回	8月実施予定
実施者	事務局	

記録の保存

教育の実施内容は実施責任者によって記録し事務局が保管する。

実施体制

川飯工業株式会社
 作成: '17年 6月 1日
 改定: '22年1月1日



役員3名 社員128名 派遣22名 合計150名

6環境経営目標に対する実績値と評価(2021年度)

*生産比=昨年比(実績%)/昨年比(基準%)

2020年実績(基準)	2021年 環境目標	2021年 実績	昨年比	*生産比	実施状況の評価
12,765万個	総生産数	12,745万個	99% (基準)	—	
CO2排出量 476,541kg-CO2 47.654kg-CO2/1万個	-1%削減 年 471,775kg-CO2 原単位47.177kg-CO2/1万個	485,530kg-CO2 48.553kg-CO2/1万個	昨年比 102% 目標比103% 昨年比102% 目標比103%	103% 103%	CO2排出量は昨年比・目標比共に未達 CO2原単位は昨年比・目標比共に未達
購入電力 1,118,640kWh 393kW	年 1,107,453kWh 最大電力 389kW	1,139,742kWh 408kW	102% 104%	103% 105%	昨年比、生産比は共に増加した。原因(漏電など)を追求する必要がある 昨年比、生産比は共に増加した。
化石燃料 7,134L	年 7,062L	6,446L	90%	91%	HV車を導入3年目となり、減少した
一般廃棄物 燃やすごみ13,318kg 再資源化物 564kg 産業廃棄物 7,060kg 2,555kg	-1%削減 燃やすごみ 13,184kg 再資源化物 558kg 再資源化物 6,989kg 再資源化以外 2,529kg	12,750kg 806kg 4,440kg 2,405kg	96% 143% 63% 94%	97% 144% 64% 95%	昨年比、生産比共に削減できた 大幅に上昇した理由として一気ゴミ出した。もしくは不法投棄のゴミが考えられる 昨年比、生産比共に削減できた 昨年比、生産比共に削減できた
鉄スクラップ 4,551,407kg/年	4,505,892kg/年	4,319,210kg/年	95%	96%	生産比はほぼ横ばいなので、更なる減少へ向けての手立てを考える。
品質不良 151件	クレーム件数 149件	215件	142%	—	大幅に上昇した。各部署の対応が望まれる
水使用量 4,745m ³	年 4,697m ³	4,604m ³	97%	98%	昨年に引き続き、漏水修理やポンプの交換等を行い、使用量が削減できた
化学物質(PRTR)使用量 116.1kg 総化学物質使用量 21,241L	年 114.9kg 年 21,028L	100.6kg 25,286L	87% 119%	88% 120%	使用量を削減できた 大幅に上昇した理由として、プレス1号機がプレスオイルを多用している。
購入資材 鋼材使用量 9,437t	年 9,342t	9,034t	96%	97%	生産が減少したので、ほぼ横ばいだった
部品使用量 1,171百万円	年 1,159百万円	1,042百万円	89%	90%	生産比がほぼ横ばいだったので、減少した
紙使用量 208,250枚	年 206,167枚	206,000枚	99%	100%	大きな変化はなかった
グリーン購入の推進 グリーン購入比67.61%	グリーン購入 60%以上	グリーン購入比65.25%	97%	—	集計方法の確立が必要

次年度は、今年度の計画を各Tさらに深掘りを行う

7 環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画

作成日：2022年2月24日

評価 ◎十分出来た ○ほぼ出来た △不十分

確認日：2022年2月24日

取組項目	製造部	取組内容と計画
電力による二酸化炭素排出量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 不要照明のスイッチオフ 昼休みの消灯 未使用・非稼働設備の電源オフ 工場エア―漏れの点検・修理 省エネ機器への入れ替え 	<ul style="list-style-type: none"> △ △ ○ △ ○ ○ 	<p>今年度の取組を継続する。</p> <p>非稼働設備の電源OFFを徹底する。</p> <p>一部の部署で空調適正化ができていなかったの、注意したい。</p>
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ 急加速の抑制 冷房の控えめ使用 省エネタイプの車両への入れ替え 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<p>今年度の取組を継続する。</p>
一般廃棄物の削減		
<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物分別の徹底 梱包材の返却 再資源化物の削減 定期的に出すゴミ捨ての推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ △ △ 	<p>今年度の取組を継続する。</p> <p>廃棄物の分別をしっかりとリサイクル量を増やす。</p> <p>定期的に出すゴミ捨ての推奨</p> <p>不法投棄の根絶を図る。</p>
不良の低減		
<ul style="list-style-type: none"> 工程内不具合の件数を減少する 流出不具合の件数を削減する 	<ul style="list-style-type: none"> △ △ 	<p>不具合の増加の原因として部署間の意思疎通が図れなかった部分がある。今後、打合せの時間を多く取るなどを行っていく必要がある。</p>
節水		
<ul style="list-style-type: none"> 洗浄工程の改善（ムダの排除） 手洗い水量の適正化（ムダの排除） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<p>今年度の取組を継続する。</p>
総化学物質使用量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> 総化学物質使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> △ 	<p>大幅に上昇した理由として、プレス1号機がプレスオイルを多用していることが上げられる。今後の対応策を考えた</p>
社会貢献		
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全期間中の立哨活動の実施 環境関連寄附の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<p>今年度の取組を継続する。</p>

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
公害防止組織の整備に関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検対象全て・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日 2022年 2月 24日
 遵守評価者名 刈鋌工業株式会社
 環境管理責任者
 代表取締役 江原 圭亮

見直しに必要な情報			代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果] 昨年度に引き続き、今年度もコロナ渦の影響のため、やや生産量減少となった。全体的に昨年は減少している。ただし、一般廃棄物の再資源物や総化学物質使用量等が増加した。この点は周知、強化の余地がある。 化石燃料、化学物質使用量等の面は成果が出ていると考えられる。 産業廃棄物が減るといった傾向は出てきた。 <改善への提案> 人の入れ替わりが激しい中でも、人の手で守るしかないルールを継続して教育していく。			[環境方針] 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)			[目標・活動計画] 変更の必要性: 必要に応じて変更する
目標項目	昨年比状況	達成状況の評価	下記指示事項 電力量の増加は漏電有無を考える必要がある。定期的に確認したい 品質不良は部署間の意思疎通が原因と思われる。打合せの時間を共有させたい。 総化学物質増はプレスオイル増が考えられる。早急に対策を考えたい
産業廃棄物	37%減	効率的に産廃物を減少できた。	
節水	3.0%減	昨年に引き続き削減できた	
電力使用量	2.0%増	増加した。原因を追究する	
品質不良	42%増	増加した。原因を追究する	
総化学物質	19%増	増加した。原因を追究する	
<改善への提案> 生産対比の減少方法を考えていく。			
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情はありません ②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施 <改善への提案> ・維持			[その他] 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
[総括] 代表者による指示事項 会社の実態に応じた目標値の設定方法や基準項目の精査を今一度検討したかどうか。派遣社員等の入れ替え等で周知と教育が大変ではあるが目標達成して行くためにも、努力を惜しまずに教育してほしい。			
令和4年2月24日			